

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：教育企画推進室 H18 教育企画課] P.358

1201 小中学校適正規模適正配置審議会に要する経費 198,345 円(0 円)

[一財 198,345 円]

#### 目的

児童生徒の減少に伴う教育環境の整備を図るため、取手市立小中学校適正規模適正配置審議会を設置し審議検討を行う。

#### 内容

委員 12 名を 11 月に委嘱し、市立小中学校の適正規模及び適正配置について諮問した。

平成 17 年度は 2 回の審議会を開催し、取手市の現状について認識の統一を図った。

#### 効果

小中学校の適正規模・適正配置を審議検討する上での現状認識を図ることができた。

[担当：教育総務課 H18 学務課] P.358

2201 通学送迎に要する経費 736,960 円(0 円)

[国・県 284,000 円 一財 452,960 円]

#### \* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 284,000 円]

#### 目的

高須小学校廃校に伴い、大留第 1 地区(小貝川右岸)の児童の安全な通学手段を確保する。

#### 内容

児童を桜が丘小学校へタクシーで送迎する。

対象者 大留第 1 地区の児童 2 人

6 年生 男 1 人

4 年生 女 1 人

#### 効果

対象児童に対して、安全な登下校の通学手段が確保できた。

### 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課 H18 教育企画課] P.360

2001 奨学生給付金 1,804,900 円(3,478,900 円)

[その他 130,066 円 一財 1,674,834 円]

#### \* 特財内訳

[財産収入：奨学基金利子 130,066 円]

#### 目的

経済的に修学が困難な高校生の保護者に対し、育英資金を給付し有為な人材を育成する。

内容 給付月額 9,300 円

年度	1 年生	2 年生	3 年生	合 計
H17	2 人	3 人	11 人	16 人
H16	3 人	11 人	17 人	31 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

[担当：教育総務課 H18 教育企画課] P.360

2101 奨学生貸付金 5,760,000 円 (6,360,000 円)

[その他 4,931,000 円 一財 829,000 円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 4,931,000 円 償還者数：28 名]

目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金の貸し付けをし有為な人材を育成する。

内容 貸付額 ・国立大 30,000 円/月 ・私立大 40,000 円/月

年度	国立大	私立大	合 計
H17	4 人	9 人	13 人
H16	3 人	11 人	14 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

#### 1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.362

1101 英語指導助手に要する経費 64,370,548 円 (45,458,787 円)

[国・県 10,000,000 円 その他 10,240 円 一財 54,360,308 円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 10,000,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,240 円]

目的

小・中学生の語学力の向上と国際理解を図る。

内容

英語指導助手 13 名を中学校各校に 1 人、小学校 4 校に 1 人配置 (旧藤代町地区の小学校には平成 17 年度より新規で配置) し、英語教育の充実に努めた。英語指導助手との交流により、国際理解教育の推進も図った。派遣については、民間業者に委託した。

効果

各中学校の生徒の語学力の向上に十分に役立ち、一翼を担った。特に小学校での国際理解教育が一段と充実した。

[担当：指導課] P.364

2001 指導主事に要する経費 39,959,659 円 (34,692,003 円)

[一財 39,959,659 円]

### 目的

教育振興のために教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導助言、教職員の資質の向上を図る。

### 内容

#### < 学校訪問 >

- ・ 市計画訪問 1校あたり1回 計26回
- ・ 研究委嘱校訪問 1校あたり3回 計21回
- ・ 要請訪問 28回
- ・ 初任者配置校訪問 12回

#### < 研修講座 > 20回

- ・ 学級経営 ・ 生徒指導 ・ 年度別教員研修 ・ コンピュータ研修
- ・ 教科等研究推進委員会 ・ 就学指導実技研修

#### < 就学指導委員会 > 3回

### 効果

指導助言及び研修を通して、教職員の資質向上が図られ、児童生徒の学力向上及び生きる力をはぐくむことができた。

[担当：指導課] P.364

2301 適応指導教室事業に要する経費 23,566,043円(18,096,604円)

[一財 23,566,043円]

### 目的

社会問題になっている、いじめや不登校児童生徒等の問題に対応するため、学校や関係諸機関との連携のもとに、適切な援助・指導を行う。

### 内容

8人の教育相談員と指導主事が、集団活動や教科指導、個別カウンセリング等を行い、児童生徒が徐々に集団に馴染み、学校生活に戻れるよう援助し、不登校等に関する保護者からの相談に応じた。

### 効果

15人の通級者(小・中学生)のうち、平成18年4月初めには6人が学校生活に復帰することができた。

年 度	通級者数	部分復帰	完全復帰
H17	15人	7人	3人
H16	16人	14人	2人

[担当：指導課] P.366

2501 心の教室相談員研究活用事業に要する経費 1,351,000円(1,049,000円)

[一財 1,351,000円]

### 目的

生徒の悩みやストレスを和らげ、心のゆとりをもてる学校環境を整える。

### 内容

各中学校に1名ずつ「心の教室相談員」をおき、生徒の悩み相談を行うとともに地域と学校の連携に努めた。

## 効果

相談員の配置により、相談員に対して素直に自分自身について語るできるようになり、不登校等の解消の一因となった。(H17年度 相談件数 718件)

[担当：指導課] P.366

2701 児童生活相談員配置事業に要する経費 8,714,603円(6,221,500円)

[一財 8,714,603円]

## 目的

児童の悩みやストレスを和らげ、小学校段階における基本的な生活習慣の定着を図る。

## 内容

各小学校に実情に応じて生活相談員を配置し、1人あたり週15時間・年36週にわたり児童との相談活動や指導を通じて、担任への支援を図った。

## 効果

担任等の連携を通して、児童の基本的な生活習慣の定着をめざしてきた。特に授業中の児童の学習支援に効果があった。

[担当：指導課] P.366

3601 「心の授業」「心の先生」講師派遣事業に要する経費 807,000円(510,000円)

[一財 807,000円]

## 目的

「心の授業」「心の先生」は文化人や哲学者、スポーツ選手などの著名人のほか、郷土史家や在日外国人、企業経営者や消防隊員等を小中学校に派遣し、道徳の授業を行い、児童生徒の豊かな人間性、社会性を育てる。

## 内容

平成15年度より、小中学校各クラス年間1回、道徳教育を進める一環として「心の授業」「心の先生」の授業を推進した。

## 効果

多様な経験をもつ「心の先生」を活用することにより、児童生徒に多くの感動を与え、「心に響く道徳」となった。

[担当：指導課] P.366

3801 スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業に要する経費 1,780,000円  
(1,744,000円)

[国・県 1,780,000円]

\* 特財内訳

[県委：スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業委託金 1,780,000円]

## 目的

不登校児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため教員や適応指導教室指導員の研修、家庭への訪問指導など、不登校対策に関する中核的機能を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する。

#### 内容

(1)各市適応指導教室間との連携を図り、学校復帰に向けたプログラムを研究し、実践した。

(2)不登校に苦慮する学校にスクーリング・サポート・ネットワークセンターとして、積極的にかかわり、その減少に向けて支援を行った。

- ・不登校児童生徒及び保護者への効果的な支援の在り方
- ・不登校問題に取り組む学校に対する効果的な援助の在り方
- ・不登校児童生徒を支援する体験活動プログラムの在り方

#### 効果

適応指導教室に通級している児童生徒が、部分登校を実施する際に担任や保護者との連携を図ることにより、適切な対応ができた。また、守谷市・牛久市教育委員会と連携を進め、体験活動プログラムなどで多くの成果があった。

[担当：指導課] P.366

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,457,000円(1,344,000円)

[一財 2,457,000円]

#### 目的

小中学生が市内及び近隣市町村の文化施設等の学習の機会、体験活動、見学等について最大限利用できる交通手段を確保する。

#### 内容

社会科学習・総合的な学習の時間等に利用した。

#### 効果

小中学校児童生徒による校外学習等の実施及び移動の円滑化を図ることができた。

[担当：指導課] P.368

4001 子どもと親の相談員活用調査研究事業に要する経費 2,520,000円  
(1,107,000円)

[国・県 2,520,000円]

\* 特財内訳

[県委:子どもと親の相談員活用調査研究事業委託金 2,520,000円]

#### 目的

不登校解消は、早期の段階での対応が効果的である。中学校に配置されている「心の教室相談員」と同じように小学校にも「子どもと親の相談員」として、子どもの悩みや親の相談に応じ、不登校解消に取り組む。

#### 内容

校長の指揮監督の下に、概ね以下の業務を行った。

- (1)児童の相談相手
- (2)家庭・地域と学校の連携支援
- (3)幼・小・中連携、関係機関、児童福祉施設との連携支援
- (4)その他の学校の教育相談活動支援

## 効果

不登校児童及び保護者との面談等を継続的に行うことにより、校内の相談室や保健室に登校できるようになった。また、休み時間や給食ならびに授業にも積極的にに関わり、児童の学校生活における不安や不満などに数多く対応できた。

平成 17 年度 相談者数（市内 7 小学校）466 人、相談回数 1,084 回

[担当：指導課] P.368

4201 日本語指導ボランティア活用事業に要する経費 315,510 円（0 円）

[一財 315,510 円]

## 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、援助する。

## 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

## 効果

外国からの編入児童生徒に対し、日本語指導員を配置したことにより、日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、本人の学校生活の不安を解消できた。

[担当：指導課] P.368

4301 スクールライフサポーター活用調査研究事業に要する経費 1,260,000 円（0 円）

[国・県 1,260,000 円]

\* 特財内訳

[県委:スクールライフサポーター活用調査研究事業委託金 1,260,000 円]

## 目的

児童のお兄さん・お姉さんの存在として児童と関わり、人間関係を築き、良き相談相手となり、不登校問題を解消する。

## 内容

- (1) 不登校や不登校気味の児童に対する家庭訪問等による支援
- (2) 休み時間を活用し、相談相手、遊び相手としての支援
- (3) 授業時間における学習支援

平成 17 年度 相談者数（市内 7 小学校）297 人 相談回数 779 回

## 効果

不登校児童に直接関わり、家庭訪問を継続的に行い、1 名を学校生活に復帰させることができた。登校渋りや不登校児童生徒と関わり、学習支援や遊び相手となることで、不登校の防止に役立てることができた。

## 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.368

1001 青少年健全育成に要する経費 11,483,350 円（8,645,836 円）

[国・県 145,000 円 その他 200,000 円 一財 11,138,350 円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員事業補助金 145,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 200,000 円]

目的

青少年センターを中心とした特別青少年相談員、青少年相談員の相談活動及び街頭指導等により、青少年の健全育成を図るとともに、青少年育成団体に助成を行い、青少年の非行を防止し、青少年が安心して生活できる街づくりを目指す。

内容

・報酬

青少年相談員報酬 6,218,554 円 (月額 9,400 円 55 人)

特別青少年相談員報酬 2,712,000 円 (月額 113,000 円 2 人)

・負担金，補助及び交付金

11 団体 1,615,600 円

○ 効果

諸事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.370

1101 青少年問題協議会に要する経費 193,818 円 (145,441 円)

[一財 193,818 円]

目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

内容

・青少年問題協議会委員報酬 69,300 円

・善行青少年表彰記念品 88,368 円

効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関（警察、小中高校等）相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.372

2001 小学校管理に要する経費 205,663,767 円 (162,720,686 円)

[国・県6,303,343 円 地方債 7,600,000 円 その他 8,613,508 円 一財 183,146,916 円]

\* 特財内訳

[県補：T T 特別配置事業費補助金 6,303,343 円]

[市債：小学校整備事業債 10,185,000 円 × 75% 7,600,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 8,585,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 28,508 円]

## 目的

学校運営に必要不可欠な経費であり、学校環境の充実を図る。また、TT特別配置事業として、児童の学習意欲の向上や「確かな学力」へ繋がるよう教育の推進を図る。

## 内容

- ・小学校パソコン室エアコン取付工事を3校（小文間小、吉田小、高井小）で実施（10,185,000円）
- ・各校の普通教室、特別教室に2台ずつ扇風機を設置（13,744,500円）
- ・小学校1年生（取手小他11校）の机と椅子を更新（6,537,825円）
- ・県のTT特別配置補助事業として、少人数指導加配教員の配置されない小学校8校（小文間小、吉田小、稲小、高井小、山王小、藤代小、久賀小、宮和田小）に臨時的にTT講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った（12,218,500円）
- ・教育補助員を4校（久賀小、桜が丘小、永山小、戸頭西小）に配置し、障害のある児童の教育支援を図った（3,065,875円）

## 効果

- ・TTの配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着を図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある児童の教育活動の充実を図れた。
- ・パソコン室に空調機を導入することにより機器の保護及び良好な学習環境が整った。
- ・普通教室や特別教室に扇風機を設置することにより、夏期における授業環境の整備を図れた。
- ・年次計画により新基準対応の机と椅子の更新（1年生）を図り、教育環境の充実を図れた。

[担当：教育総務課 H18 教育施設課] P.374

2101 小学校施設管理に要する経費 46,819,861円（40,749,031円）

[一財 46,819,861円]

## 目的

小学校施設を良好な状態に保つための維持管理を図る。

## 内容

### (1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
修繕料	各小学校の施設修繕料	8,176,033
	各小学校の施設修繕料(学校配当分)	7,172,058

### (2) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	委託料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,680,836
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(小文間、永山、白山西、高井、藤代、山王、六郷、宮和田)	3,378,900
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	3,294,690
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	442,050
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,530,500
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	610,050

高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,411,320
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手、白山）	346,500
給水管漏水調査委託	漏水調査（白山西、井野、高井）	469,350
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,013,250
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	2,199,750
空調設備保守点検委託	各小学校の空調設備の保守点検	1,218,840
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手）	1,701,000
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手）	604,800
自動ドア保守点検委託	自動ドアの保守点検（取手）	220,500
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手）	73,500
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽の保守点検（取手）	336,000
遠赤外線暖房機保守点検委託	遠赤外線暖房機の保守点検（取手）	281,400
風力発電設備保守点検委託	風力発電設備の保守点検（取手）	189,000
六郷小アスベスト飛散濃度分析業務委託	含有調査の結果、体育館の飛散濃度分析調査	57,750
アスベスト含有調査業務委託	小学校 12 校のアスベスト含有調査	1,694,910

（３）使用料及び賃借料、原材料費

（単位：円）

項目	内容	金額
使用料及び賃借料	電柱共架料	114,660
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	132,691
	各小学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	351,381

効果

小学校施設を良好な状態に維持管理することができた。

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.376

2201 小学校保健衛生に要する経費 32,230,215 円 (22,895,092 円)

[その他 2,414,080 円 一財 29,816,135 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×5,248人=2,414,080円]

目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医、歯科医、薬剤師（産業医） 73人(18人)
- ・児童・教職員健康診断委託 委託先（社）取手市医師会、（財）茨城県総合健診協会

（単位：人）

区分	尿	蟻虫	貧血	心臓	胃	結核・肺ガン	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	全学年	2・4・6年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	全学年	職員
H17	5,898	5,573	2,843	1,037	18	245	5,573	326
H16	4,223	3,991	2,225	901	12	174	3,990	227

## 効果

定期検診を実施することにより、児童に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.378

2001 小学校教育振興に要する経費 16,645,236 円 (18,354,677 円)

[一財 16,645,236 円]

### 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

### 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18 校) 13,800,406 円

卒業記念品 (英和辞典) 1,065,225 円

### 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより能率のよい学習効果が得られた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.378

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 27,031,843 円 (20,204,726 円)

[一財 27,031,843 円]

### 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を保つ。

### 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	特殊学級教材	理科教材	図 書	その他	計
H17	16,829,976	536,445	2,865,747	4,947,971	34,956	25,215,095
H16	11,077,579	0	2,038,517	4,980,224	570,084	18,666,404

### 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.380

2201 小学校コンピュータ設備に要する経費 51,782,628 円 (36,834,116 円)

[国・県 15,000,000 円 一財 36,782,628 円]

\* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 15,000,000 円]

### 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

内容

小学校 18 校のパソコン使用料（各校 21 台）に要する経費である。

パソコン使用料	48,600,036 円
パソコン教材充実費	2,296,885 円
その他(消耗品・修繕料)	885,707 円

効果

小学校 12 校において、ネットワーク配信コンテンツ推進活用事業を展開しており、パソコン教材の充実によって、より一層の教育の情報化推進が図れた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.380

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 23,419,101 円 (20,384,454 円)

[国・県 521,500 円 一財 22,897,601 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護及び準要保護児童就学奨励費補助金 55,000 円 × 1/2=27,500 円]

[国補：特殊教育就学奨励費補助金 988,000 円 × 1/2=494,000 円]

目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上を図る。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助を行う。

・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	計
H17	22 人	345 人	367 人
H16	20 人	301 人	321 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H17	69 人	46 人
H16	37 人	26 人

効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.380

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,107,845 円 (1,379,219 円)

[一財 2,107,845 円]

目的

市内音楽発表会・体育大会等への参加を通して、児童の活動意欲を高める。

内容

(1)諸発表大会児童派遣費補助金	735,800 円
(2)陸上競技会補助金	1,230,000 円

効果

市内音楽発表会、陸上競技会等への参加により児童の活動意欲の向上が図れた。

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課 H18 教育施設課] P.382

2101 小学校施設整備に要する経費 143,223,319 円 (101,860,716 円)

[国・県51,000,000円 地方債42,800,000円 その他21,373,000円 一財28,050,319円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 51,000,000 円]

[市債：小学校整備事業債 57,064,000 円×75% 42,800,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 21,373,000 円]

### 目的

各小学校の施設を整備し、施設の充実を図る。

### 内容

#### (1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
小学校耐力度調査業務委託	耐力度調査(永山)	H17.9.9 ~ H18.3.15	13,335,000
小学校耐震診断調査業務委託	小文間小耐震診断調査 井野小耐震診断調査	H17.7.12 ~ H18.2.28	7,665,000 30,072,000
永山小消火栓配管改修工事実施設計業務委託	永山小消火栓配管改修工事の実施設計	H17.9.15 ~ H17.11.18	133,875
永山小低学年棟外壁・手摺等改修工事実施設計業務委託	永山小低学年棟外壁・手摺等改修工事の実施設計	H17.7.20 ~ H17.9.15	367,500
小学校飲用水槽改修工事実施設計業務委託	受水槽設置工事の実施設計(戸頭西)	H17.7.26 ~ H17.9.30	336,000
白山西小污水管改修工事実施設計業務委託	白山西小污水管改修工事の実施設計	H17.8.20 ~ H17.11.10	546,000
小学校保健室等空調設備設置工事設計業務委託	保健室等空調設備設置工事の実施設計 (山王・六郷・宮和田)	H17.8.5 ~ H17.9.30	577,500
藤代小給食室外壁(一部)改修工事設計業務委託	藤代小給食室外壁(一部)改修工事の実施設計	H17.6.22 ~ H17.7.5	94,500
小学校 PAS 設置工事設計業務委託	小学校 PAS 設置工事の実施設計 (山王・六郷・宮和田・藤代)	H17.7.20 ~ H17.9.15	315,000
小学校キュービクル改修工事設計業務委託	小学校キュービクル改修工事の実施設計(山王・六郷・宮和田・藤代)	H17.7.20 ~ H17.9.15	420,000

#### (2) 工事請負費

(単位：円)

工事名	工事内容	工期	工事費
永山小消火栓配管改修工事	消火栓埋設管漏水箇所及び老朽管敷設替工事(約100m)	H17.12.7 ~ H18.3.15	3,286,500
永山小低学年棟外壁・手摺等改修工事	外壁クラック補修・既存建具の取替・屋根防水及びベランダ手摺塗装工事	H17.11.9 ~ H18.1.31	9,450,000
小学校受変電設備改修工事	トランス交換・LBS改修・PAS設置工事 (山王・六郷・宮和田・藤代)	H17.11.8 ~ H18.2.20	13,807,500

小学校ガス設備改修工事	既存埋設白ガス管の老朽化に伴い、ポリエチレン管へ敷設替工事 (戸頭東・戸頭西・吉田・白山)	H17.7.12 ~ H17.9.15	4,326,000
寺原小裏門門扉設置工事	裏門門扉新設工事 (2箇所)	H17.7.16 ~ H17.9.15	840,000
白山西小裏門門扉設置工事	裏門門扉改修工事 (1箇所)	H17.7.16 ~ H17.9.15	871,500
小学校消防設備改修工事	消防点検報告による指摘箇所の改修工事		878,986
戸頭西小受水槽改修工事	既存受水槽(FRP)撤去及び新設工事(SUS 2.0×3.0×2.0H)	H17.11.8 ~ H18.2.17	6,615,000
小学校保健室等空調設備設置工事	保健室・職員室のガス空調設備設置工事(山王・六郷・宮和田・藤代)	H17.12.7 ~ H18.3.15	16,180,500
白山西小公共下水道接続工事	公共下水道接続工事及び既設排水管改修工事(浄化槽2基・機械室1箇所解体)	H17.12.7 ~ H18.3.17	14,710,500
藤代小給食室外壁(一部)改修工事	配膳室の柱(2箇所)及び外壁の改修工事	H17.7.20 ~ H17.8.31	1,155,000
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		13,973,099

#### 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.386

2001 給食運営に要する経費 295,004,296 円 (92,194,615 円)

[その他 200,032,823 円 一財 94,971,473 円]

\* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代 200,032,823 円]

#### 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

#### 内容

- (1)学校給食調理業務を民間の専門業者へ6校(取手小・寺原小・永山小・井野小・白山西小・戸頭東小)委託した。
- (2)臨時調理員賃金 6人
- (3)給食室内の衛生面を考慮し、換気扇及び給食排水槽の清掃委託等を実施した。

#### 効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図られた。

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.388

2101 給食施設整備に要する経費 5,383,576 円 (12,594,751 円)

[一財 5,383,576 円]

#### 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

施設整備

- ・給食室内装修繕（白山小） 1,281,000 円
- ・給食用小荷物専用昇降機修繕（吉田小） 742,350 円

効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.390

2001 中学校管理に要する経費 89,762,613 円（73,028,502 円）

[その他 4,000,000 円 一財 85,762,613 円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,000,000 円]

目的

学校運営に必要不可欠な経費であり、学校環境の充実を図る。

内容

- ・各校の普通教室、特別教室に2台ずつ扇風機を設置。（7,203,000 円）
- ・教育補助員を2校（取手東中・取手二中）に配置し、障害のある生徒の教育支援をした。（2,316,140 円）

効果

- ・普通教室や特別教室に扇風機を設置することにより、夏期における授業環境の整備が図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の教育活動の充実が図れた。

[担当：教育総務課 H18 教育施設課] P.392

2101 中学校施設管理に要する経費 21,964,638 円（20,218,967 円）

[一財 21,964,638 円]

目的

中学校施設を良好な状態に保つための維持管理を図る。

内容

(1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,556,778
	各中学校の施設修繕料（学校配当分）	3,152,326

(2) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	金額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,562,084
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(取手二・永山・野々井・藤代・藤代南)	1,672,649
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,407,105
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	252,000
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,108,800
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	280,350

高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	743,280
給水管漏水調査委託	漏水調査（取手二・藤代南）	312,900
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	404,250
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	651,000
空調設備保守点検委託	各中学校の空調設備の保守点検	415,800
電波障害事前調査委託	取手二中大規模改造工事に伴う電波障害事前調査	123,900
取手一中鳩飛来防止業務委託	鳩飛来防止施工（忌避剤塗布約 40m）	462,000
アスベスト含有調査業務委託	中学校 5 校のアスベスト含有調査	912,555
戸頭中アスベスト飛散濃度分析業務委託	含有調査の結果、階段室の飛散濃度分析調査	210,000

(3) 原材料費

(単位：円)

項目	内容	金額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	130,137
	各中学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	157,332

効果

中学校施設を良好な状態に維持管理することができた。

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.392

2201 中学校保健衛生に要する経費 16,798,605 円 (12,087,636 円)

[その他 1,176,680 円 一財 15,621,925 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 × 2,558 人=1,176,680 円]

目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医・歯科医・薬剤師（産業医） 36 人(8 人)
- ・児童・教職員健康診断委託

委託先：(社)取手市医師会、(財)茨城県総合健診協会

(単位：人)

区分	尿	蟻虫	貧血	心臓	胃	結核	小児生活習慣病	生化学検査	風疹抗体
対象	全学年職員	全学年	2 年職員	1 年職員	40 歳以上職員	職員	全学年	職員	2 年
H17	2,898	2,690	917	1,091	5	141	2,740	191	931
H16	1,959	1,835	730	745	4	122	1,835	128	602

効果

定期検診を実施することにより、生徒に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

### 3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.394

2001 中学校教育振興に要する経費 10,138,512 円 (7,248,754 円)

[一財 10,138,512 円]

#### 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

#### 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (8 校) 8,374,045 円

卒業記念品 (国語辞典) 1,333,164 円

#### 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより能率のよい学習環境が得られた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.396

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 18,903,883 円 (14,677,003 円)

[一財 18,903,883 円]

#### 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

#### 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	選択教科	理科教材	図 書	特殊学級	その他	計
H17	8,998,157	223,230	2,026,755	4,494,408	0	656,670	16,399,220
H16	6,402,461	123,868	1,434,311	3,810,976	0	834,750	12,606,366

#### 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.396

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 27,830,209 円 (13,183,116 円)

[国・県 11,000,000 円 一財 16,830,209 円]

\* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 11,000,000 円]

#### 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

#### 内容

パソコン使用料 26,408,550 円

パソコン教材充実費 981,828 円

その他(消耗品・修繕料) 439,831 円

## 効果

中学校 6 校において、ネットワーク配信コンテンツ推進活用事業を展開しており、パソコン教材の充実によって、より一層の教育の情報化推進が図れた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.396

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 22,120,862 円 (14,287,328 円)

[国・県 627,020 円 一財 21,493,842 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護及び準要保護生徒就学援助費補助金 354,040 円 × 1/2=177,020 円]

[国補：特殊教育就学奨励費補助金 900,000 円 × 1/2=450,000 円]

## 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上を図る。

## 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助を行う。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	計
H17	15 人	201 人	216 人
H16	16 人	140 人	156 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H17	37 人	25 人
H16	19 人	11 人

## 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上を図った。

[担当：指導課] P.396

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,676,945 円 (10,284,183 円)

[一財 11,676,945 円]

## 目的

市内音楽発表会・体育大会等への参加を通して生徒の活動意欲を高める。

## 内容

(1) 諸発表大会生徒派遣費補助金 2,544,500 円

(2) 体育大会等補助金 9,039,145 円

## 効果

諸発表・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲を高め、活動意欲の向上が図れた。(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)

[担当：指導課] P.396

3001 中学校スポーツエキスパート活用事業に要する経費 577,500 円 (0 円)

[国・県 192,500 円 一財 385,000 円]

\* 特財内訳

[県補:スポーツエキスパート活用事業費補助金 192,500 円]

目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

内容

運動部活動における外部指導者の活用

- ・ 中学校 3校 6運動部
- ・ 一人年間 27回実施 1回の指導時間は2時間

効果

配置校における運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当:教育総務課 H18 教育施設課] P.398

2001 中学校施設整備に要する経費 59,364,149 円 (19,346,635 円)

[国・県 28,500,000 円 地方債 15,200,000 円 その他 4,243,000 円 一財 11,421,149 円]

\* 特財内訳

[国補:合併市町村補助金 28,500,000 円]

[市債:中学校整備事業債 20,333,000 円×75% 15,200,000 円]

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 4,243,000 円]

目的

各中学校施設の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位:円)

委託名	内容	工期	委託料
取手二中敷地測量業務委託	学校敷地の測量	H17.10.8 ~ H18.3.15	3,097,500
取手東中敷地測量業務委託	学校敷地の測量	H17.12.7 ~ H18.2.28	997,500
中学校耐震診断調査業務委託	取手一中耐震診断調査	H17.7.12 ~	15,435,000
	永山中耐震診断調査	H18.2.28	6,909,000
	取手二中耐震診断調査	H18.1.26 ~ H18.3.31	3,150,000
戸頭中消火栓配管改修工事実施設計業務委託	戸頭中消火栓配管改修工事の実施設計	H17.10.7 ~ H17.12.12	346,500
永山中受水槽改修工事実施設計業務委託	永山中受水槽改修工事の実施設計	H17.7.26 ~ H17.9.30	367,500
藤代南中電気設備改修工事実施設計業務委託	藤代南中電気設備改修工事の実施設計	H17.7.20 ~ H17.9.15	178,500

(2) 工事請負費

(単位:円)

工事名	工事内容	工期	工事費
戸頭中消火栓配管改修工事	消火栓埋設配管漏水箇所及び老朽管敷設替(埋設9.3m、露出1.61m)	H18.1.13 ~ H18.3.22	5,250,000

永山中消火栓配管改修工事	消火栓埋設配管漏水箇所及び老朽管敷設替(埋設3.3m)	H18.1.20 ~ H18.2.28	834,750
永山中受水槽改修工事	既存受水槽(FRP)撤去及び新設工事(SUS 3.0×3.0×2.0H)	H17.11.8 ~ H18.2.17	8,925,000
戸頭中ガス設備改修工事	既存埋設白ガス管の老朽化に伴い、ポリエチレン管へ敷設替工事	H17.7.9 ~ H17.9.15	1,218,000
中学校消防設備改修工事	消防点検報告による指摘箇所の改修工事		1,279,950
藤代南中受変電設備改修工事	トランス交換・LBS改修・PAS設置工事	H17.11.8 ~ H18.1.20	3,213,000
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事		7,888,094

効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課 H18 教育施設課] P.398

2101 中学校建設事業に要する経費 21,077,768 円 (23,625,000 円)

[国・県 21,000,000 円 一財 77,768 円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 21,000,000 円]

目的

藤代中・取手二中の校舎耐震補強・大規模改造工事実施設計及び取手二中体育館改築工事の実施設計を行い、教育環境の充実に図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	工事費
藤代中大規模改修変更(見直し)設計委託	大規模改造工事(耐震補強含む)の設計見直し	H17.8.5 ~ H17.12.16	3,444,000
取手二中大規模改造工事実施設計委託	老朽化した校舎の大規模改造工事(耐震補強含む)の実施設計	H17.7.12 ~ H18.3.31	10,395,000
取手二中屋内運動場改築工事基本・実施設計委託	屋内運動場改築工事の基本・実施設計	H17.8.5 ~ H18.3.15	7,224,000

効果

藤代中・取手二中の校舎耐震補強・大規模改造工事実施設計及び取手二中体育館改築工事の実施設計ができ、工事に向けての準備が整った。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.402

2001 給食運営に要する経費 150,415,949 円 (48,538,458 円)

[その他 101,105,308 円 一財 49,310,641 円]

\* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代 101,105,308 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

(1)学校給食調理業務を民間の専門業者へ3校(取手一中、取手二中、戸頭中)委託した。

(2)臨時調理員賃金 3人

(3)給食室内の衛生面を考慮し、換気扇及び給食排水槽の清掃委託等を実施した。

効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図られた。

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.402

2101 給食施設整備に要する経費 6,044,785円(6,679,721円)

[一財 6,044,785円]

目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

備品整備

- ・フライヤー(取手一中・取手東中) 735,000円
- ・温水ポイラー(取手一中) 1,596,000円

施設整備

- ・給食室内塗床及び給水設備修繕(永山中)2,079,000円

効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

#### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.404

2001 幼稚園管理に要する経費 2,727,900円(0円)

[その他 2,157,830円 一財 570,070円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 @4,000×24人=96,000円]

[使用料：市立幼稚園保育料 @5,500×58人×12月+@5,500×1人×2月=3,839,000円  
(うち1,796,000円は人件費に充当)]

[使用料：市立幼稚園保育料(過年度分) @5,500×2人×1月=11,000円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×58人=7,830円]

目的

幼稚園運営に必要な経費であり、幼稚園管理の充実を図る。

内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

効果

市立幼稚園を管理することにより、質の高い幼児教育を提供することができた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 74,472,500 円 (61,712,650 円)

[国・県 19,336,000 円 一財 55,136,500 円]

\* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金

補助対象経費 74,400,000 円 × 1/3 以内 19,336,000 円]

目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

内容

(単位：人)

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
市民税非課税世帯	1	12	29	30	72
市民税所得非課税世帯	2	8	7	18	35
所得割課税 17,200 円以下	5	33	42	28	108
所得割課税 124,400 円以下	12	234	308	317	871
計	20	287	386	393	1,086

効果

園児の保護者に対し、補助金を交付することにより幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 43,445,500 円 (23,132,350 円)

[国・県 12,900,000 円 一財 30,545,500 円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 12,900,000 円]

目的

幼児教育の振興を図るため、保育料を援助し保護者の幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
月額 2,500 円	29 人	390 人	513 人	575 人	1,507 人

効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 3,300,000 円 (2,700,000 円)

[一財 3,300,000 円]

目的

幼稚園の施設を整備するにあたり、幼稚園の設置者に対し費用の一部を補助する。

内容

1園当たり 300,000円×11園

効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 660,000円(110,000円)

[一財 660,000円]

目的

障害児を在園させている設置者に補助金を交付し、障害児保育の振興を図る。

内容

障害児一人当たり 年額 110,000円×6人分

効果

設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 390,001円(174,104円)

[一財 390,001円]

目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

内容

市内に私立幼稚園を設置する者が、夏季休業日に預かり保育を実施した場合に補助金を交付する。

実施園7園 @730×1068.5h×1/2 390,001円

効果

私立幼稚園設置者に補助金を交付することにより、預かり保育事業の振興に寄与することができた。

[担当：学校教育課 H18 学務課] P.408

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 182,520円(143,910円)

[一財 182,520円]

目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。

私立幼稚園 @135×1,352人=182,520円

## 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.412

2001 成人祭に要する経費 2,690,000 円 (1,882,900 円)

[一財 2,690,000 円]

### 目的

成人に達した若者の新たな門出を祝す。

### 内容

平成 17 年度成人に達する市内各中学校の卒業生から 1 校あたり 7 名程度の代表者を中学校に推薦依頼、成人式の企画運営を行うために実行委員会を結成し、事業を委託した。

### 効果

成人祭実行委員会では、成人対象者へのアンケートを実施しながら議論を交わし、式典の綿密な計画を練ることができた。また、記念品の選定、記念冊子の編集作業や、成人祭当日のアトラクションを決定した。

成人式の在り方を含め関係者の意見を参考にし、より良い式典が円滑に行われるよう工夫することができた。

年度 (実施日)	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H17 (H18.1.8)	男	635	492	77.4
	女	685	526	76.7
	計	1,320	1,018	77.1
H16 (H17.1.9)	男	438	370	84.4
	女	423	346	81.7
	計	861	716	83.1

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.412

2101 生涯学習のつどいに要する経費 35,065 円 (89,429 円)

[一財 35,065 円]

### 目的

市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、生涯学習団体の活動紹介や、来場者の学習や活動の促進を図ることで、市の生涯学習振興を図った。

### 内容

平成 18 年度「全国生涯フェスティバル」茨城県開催に向け、学習活動を実践している団体やサークル等による体験教室を実施した。平成 17 年度は藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2005 と同時開催した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ガールスカウト体験	野外でできる簡単な菓子づくり・クラフト (自然物利用) など	約 200 人

ボーイスカウト体験	活動紹介、簡易テント、空き缶での飯炊き、手軽なロープワークなど	約 200 人
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦。牛乳パックのペン立てづくり	約 100 人
寺子屋学校	昔の遊び（お手玉・おはじき・ビーだま・ベーゴマ・あやとりなど）	約 200 人
グランドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグランドゴルフ体験	約 150 人
取手市地域女性団体連絡会	会の活動の様子をパネルなどによる展示	約 150 人

#### 効果

学習活動を実践している団体やサークルなどによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代において交流と学びの場を提供することにより、市民の生涯学習の啓発を図ることができた。

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.412

2201 生涯学習推進に要する経費 2,465,027 円 (1,764,556 円)

[一財 2,465,027 円]

#### 目的

市民一人ひとりが充実した生活を送れるよう、市民のニーズを幅広く反映させるとともに、各分野にわたる学習機会と情報を提供し、市民がいつでも・どこでも・楽しく学習できるような環境整備を図る。

#### 内容

##### 1 生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連情報の提供に資するため、生涯学習情報紙「とりで学遊プラザニュース」を年 1 回発行。〔11 月 15 日発行 45,000 部〕

##### 2 地域サークル事業

学校完全週 5 日制対応事業の一環として、親子参加型の各種体験講座を実施した。また、リーダーバンク登録者等、地域の人材や、地域の自然を活用した事業を展開した。

##### 3 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容を、人材登録されているリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H17		H16	
	件数	延べ 受講者数	件数	延べ 受講者数
リーダーバンク編（登録指導者）	45	2,250 人	23	838 人
行政編（職員等派遣）	82	3,041 人	82	2,007 人

##### 4 農業ふれあい体験事業

委託料 220,000 円（取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託）

###### (1) 親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場 所	参 加 者
親子米づくり体験講座	5/7(田植) 9/10(稲刈)	農 業 ふれあい 公 園	親子 167 人 (うち台東区民 35 人)

(2) そばづくり体験講座

そばの種まき、収穫、そば打ちまでの一連の流れを体験した。

事業名	実施日	場 所	参 加 者
そばづくり体験講座	8/20(種まき) 11/26(収穫) 12/17(そば打ち)	吉 田 地 先 河 川 敷 内	23 人 19 人 21 人

5 家庭教育学級

市内小中学校在籍の親を対象に家庭教育について、社会教育指導員の指導により学習会を実施した。 28 学級 参加延べ人数 10,136 人

効果

学校完全週 5 日制に対応した取り組みとして、親子で自然体験の活動機会と場を提供し学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座においては、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級は「子育てと仲間づくり」をテーマに、子供達が心豊かにたくましく成長することを願って、読書、料理、子育て講話、研修視察等バラティーに富んだ学習会を実施できた。

[担当：文化芸術課] P.414

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 5,528,138 円 (5,214,183 円)

[その他 2,067,620 円 一財 3,460,518 円]

\* 特財内訳

[財産収入：取手ふるさと創生基金利子 620 円]

[繰入金：取手ふるさと創生基金繰入金 2,067,000 円]

目的

市民芸術活動、文化活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

内容

(1) 市主催事業として下記のとおり各事業を開催。

事業名	開催日	内容	入場者数
第 34 回 文化祭 (取手地区)	11/3,5,6 (3 日間)	市民が日頃行っている文化的活動を集約し、技芸・展示に分けて発表。会場：取手市民会館 取手市文化連盟に委託(委託料 1,040,000 円)	6,630 人
取手郷土作家 美術展	6/2~6/22 (21 日間)	身近な郷土作家による作品展。25 人 52 作品出品 6/4 市民と作家とのトークパーティー 市内小中学校ギャラリーツアーを 3 日間実施。	2,281 人

		とりで美術ピラミッドへ委託 (委託料 640,000 円)	
第 25 回 市民音楽祭	12/4	市民音楽団体の合唱・吹奏楽等の発表会。取手市文化事業団へ委託 (委託料 590,000 円)	1,115 人
夢の コンサート	10/15	児童を対象にした参加型のクラシックコンサート (弦楽)。(委託料 10,000 円)	811 人
第 36 回 取手市美術展	10/29 ~ 12/6 (34 日間)	第 1 部 洋画、彫刻、デザイン 73 点 第 2 部 日本画、写真、書、工芸 107 点 第 3 部 小中学生、特殊学級 1,184 点	4,608 人

(2)取手市文化事業団と市内の文化団体への助成

団体名	補助金額	目的
取手市文化事業団	1,500,000 円	自主事業の助成
取手市文化連盟	360,000 円	文化連盟運営の助成
取手市吹奏楽団補助金	240,000 円	吹奏楽団運営の助成
少年少女合唱団補助金	80,000 円	少年少女合唱団運営の助成
取手市藤代文化協会補助金	800,000 円	文化協会事業の助成

(3)文化振興奨励金交付

事業名	金額	開催日	人数
取手市中学生バンドフェスティバル	65,000 円	6/26	400 人

効果

文化事業は、毎年恒例であるが大盛況であり、入場者数も年々増えている。市民の文化芸術に関する意識の向上及び活性化が図れた。

[担当：文化芸術課] P.414

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 102,829,250 円 (83,404,000 円)

[国・県 13,900,000 円 その他 15,446,350 円 一財 73,482,900 円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 13,900,000 円]

[使用料：市民会館使用料 5,075,340 円]

[使用料：福祉会館使用料 4,441,010 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,930,000 円]

目的

耐用年数の経過により老朽化している施設を年度計画に基づき改修を行う。

内容

・需用費 19,829,250 円

修繕名	概要	履行期間	金額
取手市立市民会館舞台床 修繕	舞台床張替え、舞台床下音響配線 更新、舞台床下照明配線更新	12/15 ~ 3/15	13,923,000 円
取手市立福祉会館受水槽 改修	既存受水槽撤去、FRP 製受水槽設 置、フェンス設置、給配水管接続	12/16 ~ 3/15	4,924,500 円
取手市立市民会館ボイラ ー修繕	既存ガスバーナー撤去、FB7-11S ガスバーナー制御盤設置	2/11 ~ 3/15	981,750 円

・委託料 83,000,000 円(市民会館・福祉会館管理委託料:委託先 取手市文化事業団)

## 効果

既設の舞台床を張り替えたことにより、舞台上で演舞を行う出演者の安全性を確保し、鑑賞者に質の高い技芸を提供することが可能となった。

[担当：文化芸術課] P.414

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,691,892 円 (3,382,631 円)

[国・県 2,000,000 円 一財 2,691,892 円]

\* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 2,000,000 円]

### 目的

取手市に東京芸術大学取手キャンパスがあるという地域性を活かし、市民と芸大との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、芸術文化の振興を推進する。

### 内容

(1) 市内小中学校と芸大との文化交流 (芸大指導者謝礼 2,760,000 円)

市内小中学校 (26 校) と芸大との文化交流を実施し、小中学校の希望により美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：14 校 市内全 18 校中希望をした全校 (絵画等主に描写の指導)
- ・音楽：8 校 市内全中学 8 校 (吹奏楽部の演奏指導)

(2) 第 9 回炎の祭りの開催 (運営委託料 480,000 円)

取手キャンパスの登り窯を利用し、参加者 38 人が芸大陶芸科の指導のもと粘土制作、絵付け、登り窯での本焼きと一連の作業を行った。あわせて島田文雄教授による講演会を実施。1 人 3、4 点を制作した。実施にあたっては、実行委員会を組織し、芸大、取手市及び実行委員会の三者共催とし取手市から実行委員会に対して委託料を支出した。

- ・日程：10/31 講演会、10/5 粘土制作、10/19 絵付け、11/23 焼成体験、11/28 窯出し
- ・場所：東京芸術大学取手キャンパス

(3) 東京芸術大学卒業制作展市長賞 (市長賞賞賜金 1,000,000 円)

第 54 回東京芸術大学卒業制作展において優秀作品 2 点 (日本画、工芸) に市長賞を授与した。日本画は、吉田潤作「いい時間」、工芸 (漆芸) は菊川こよみ作「はしらに橋ら」に決定した。

- ・展示場所：取手市役所藤代庁舎 2 階・福祉会館ロビー

(4) 東京芸術大学音楽学部ミニコンサート (出演者謝礼 160,000 円)

開催日	会場	内容	入場者数
10/22 (土)	福祉交流センター	打楽器アンサンブル	110 人
12/10 (土)	藤代公民館	弦楽八重奏	40 人

## 効果

小中学校との文化交流では、合併により学校数が増加したが、希望校全校に芸大生を派遣することができた。炎の祭りにおいては、リピーターも存在し、事業が定着している。またミニコンサート打楽器アンサンブルでは、高齢者の観客が多く見られ、普段聞きなれない楽曲で心配されたが、観客の好評を得られた。

[担当：文化芸術課] P.416

3301 文化のまちづくりの推進に要する経費 13,041,580 円 (4,091,580 円)

[国・県 4,100,000 円 一財 8,941,580 円]

\* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 4,100,000 円]

#### 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ文化の発信を行うとともに、東京芸術大学のキャンパスが取手市内にあるという地理的環境を活かし、他市町村にはない芸大のノウハウを駆使した文化によるまちづくりの推進を目的とする。

#### 内容

##### (1) ストリートアートステージ作品設置

(委託料 4,000,000 円：東京芸術大学)

街の様々な場や空間を利用して街そのものを美術館化していくタウンミュージアム構想の一環として、取手駅前の路上に野外作品展示台を設置し作品を展示した。

##### (2) 壁画によるまちづくり

(委託料 1,800,000 円：壁画によるまちづくり実行委員会)

平成12年度より、いたずら書きや貼り紙の防止を主な目的として、地元小学生や取手アートプロジェクト参加者、芸大学生等による壁画制作を行ってきた。市民には大変好評であり、壁画が環境改善や防犯に大きな役割を果たしている。取手市は芸術あふれるまちづくりを目指していることもあり、芸大、市民、行政による壁画によるまちづくり実行委員会を立ち上げ、国道6号線高架下に芸大大学院卒の浅野氏による利根川と河川敷をモチーフにした作品を制作した。制作には口コミにより募集した市民も多く参加した。

概 要	期 間
土砂処理・壁面洗浄	7月末
シーラー塗装	8/2
下塗り	8/5～
下描き	8/9～
本描き	8/10～
仕上げ	8月中
参加延べ人数	約220名

##### (3) 取手アートプロジェクト2005

(補助金 4,000,000 円：取手アートプロジェクト実行委員会)

7年目を迎える取手アートプロジェクト(TAP)では、市内在住作家の自宅アトリエを公開し、作品や企画を通じて一般の人々と作家の交流を深める「オープンスタジオ」を行った。また作家のアトリエを中心に、アートで仕掛けをした文化スポットをツアーで巡る「TAPトラベルツアー」を実施し、取手市の文化的地域資源を掘り起こした。また、取手駅西口にある茨城県学生寮跡地を使った「TAPヒルズ計画」は会期中に限り、テナントと称した市内外で様々な活動を行っている方々に展示を行ってもらうことにより、様々な情報の集まるプラットホームの場所として機能させた。毎年行っているこどもを対象とした企画「児童画展」は、事前にワークショップを行うなど多角的な企画を展開し、さらに、都市環境の整備として地元企業の依

頼を受け、ガスタンク壁面を彩る「ガスタンクデザインコンペ」を実施した。

概 要	期 間
TAP フォーラム vol.1 「ひらかれるみち、つながるまち」 人・町・アートの交差点	7/17
球形ガスホルダーデザインコンペ公募期間	7月～9月
球形ガスホルダーデザインコンペ制作期間	10月～11月
アーティストの学校派遣	9月～11月
オープンスタジオ「TAP トラベラーざくざく取手」 TAP ヒルズ計画：「はらっぱから TAP ヒルズへの 100 日間」	11/12 - 11/27 の金土日祝日
かえっこバザール in 白山商店街	11/27
児童画展 - 890 人のいちねんせい「きょうね、がっこうでね」	11/12 11/27
「ヤセ犬とカエルとポリプラネット～藤浩志の表現の記録」展	11/13 - 11/23
TAP フォーラム vol.2 カフェ「TAP チャンネル」	2006/3/18
TAP 塾	通年

参加者総数 延べ約 8,000 人

#### 効果

事業の活動により、普段の生活の中で芸術に触れる機会が増え、市民の文化芸術意識が向上した。また、作品を観たり触ることにより、芸大及びアートとの距離感も縮まり、文化（アート）によるまちづくりが市民に浸透してきた。

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.418

3501 I T 基礎技術講習会に要する経費 529,259 円（546,678 円）

[一財 529,259 円]

#### 目的

情報化社会が浸透した今日においても、I T に対する市民への関心は依然として高いものがある。そのためにも、インターネットや電子メールなどの基礎技術の習得に役立つ基礎技能講習会を実施することで、日常生活における I T 利用を可能にする。

#### 内容

- (1) 公民館を利用し、I T 講習会を実施。「パソコン入門」「ワープロ入門」「表計算入門」の3種類の講座を行い、市民の I T 基礎技能の習得を図った。

年度	対象者	応募者数	受講者数	講座数
H17	一般成人（20 歳以上）	465 人	313 人	20 回
H16		259 人	123 人	8 回

- (2) 障害者のパソコン教室

N P O たんぼぼとの共催により、一般の I T 講習では取り組み方の難しい人を対象に I T 基礎技能講習を行った。

1 月～3 月（うち 4 日間）	白山公民館
------------------	-------

#### 効果

年間 20 講座、受講者 313 人に I T 講習を実施し、市民の I T 学習を支援することができた。応募状況は、大半の講座で定員を超えており、また、受講者アンケートからも I T への市民の関心と意欲は非常に高いものがあった。

[担当：文化芸術課] P.418

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 9,981,195 円 (12,180,715 円)

[その他 293,000 円 一財 9,688,195 円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 293,000 円]

目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術文化の作品発表の場として、さらには芸術文化交流の場として幅広い活動を展開する。

内容

市主催事業として下記のとおり各事業を開催した。

事業名	開催日	内容	入場者数
アーバンク アーティスト トの見本帖	9/18～10/10 (23日間)	取手に住む芸術家の作品や活動をまとめた作品集の展示	985人
県展市展入賞 作品展	12/21～1/4 (9日間)	県芸術祭に入選された市民の作品展	466人
小中学校 児童生徒 作品展	1/20～2/6 (18日間)	市内小中学生による絵画、書写、理科、統計(県展入選作品も含む)の優秀作品展。	1,836人
郷土作家 根本正展	2/16～3/14 (27日間)	日本画の郷土作家である根本正の遺作展	1,077人

ギャラリー貸出実績一覧

期 間	展 示 名
5/20～24	I B Z A お手入れ 展示会
9/8～15	平成17年度「下水道の日」普及促進展`05
10/15～23	十人十書展
12/9～18	平成17年度アジア漫画展
1/6～17	第25回川の写真コンクール入賞作品集展示会
2/10～14	聖和書道展
3/17～21	刀剣展示販売会
3/24～29	絵を描く仲間たち展(寺原・小文間合同絵画展)

効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術及び文化の振興に寄与できた。

[担当：生涯学習課 H18 スポーツ生涯学習課] P.420

3801 ネットワークフェア開催に要する経費 183,475 円 (0 円)

[一財 183,475 円]

目的

市をはじめ公共機関や、各分野の団体・市民らが協力し合い、日頃の活動・事業紹介やPRなどを交えたイベントを開催し、市民の交流促進と各種事業等の啓発を図る。

内容

「合併・市制35周年記念 新生とりで・新たな人とまちの出会い」をキャッチフレ

ーズに、藤代スポーツセンターをメイン会場、櫛木消防署、県南総合防災センター、生き生きクラブをサブ会場として、生涯学習・産業・福祉などの36団体の参加により開催した。来場者は約5,000人。

#### 効果

多くの来場者と、各分野の団体の出展により、新たなネットワークが形成され、市民や団体の交流が図られた。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課 H18 公民館] P.420

0501 公民館事務に要する経費 64,417,882円(64,051,957円)

[その他 4,622,616円 一財 59,795,266円]

#### \* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,000,000円]

[諸収入：コピー使用料 560,780円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 39,206円]

[諸収入：電話通話料 12,130円]

#### 目的

主な修繕として、井野公民館ホールの吸収冷温水機が、設置後14年経過し経年的劣化が進んでおり、故障が増えているため修繕を実施。また、寺原公民館の調理室床は老朽化が著しく、張替を実施。門扉についても老朽化が激しく安全・防犯上の問題もあるため修繕を実施し利用環境の整備を図る。

#### 内容

・井野公民館小型冷温水ユニット整備	2,572,500円
・寺原公民館調理室床修繕及び門扉修繕	1,501,500円

#### 効果

修繕を実施したことで、公民館利用者の利便性・安全性が向上した。

[担当：生涯学習課 H18 公民館] P.424

2101 公民館活動に要する経費 2,997,646円(944,269円)

[一財 2,997,646円]

#### 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として、重要な役割を果たす。

#### 内容

##### (1) 公民館各種事業

市内14公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数	事業内容及び結果
青少年	三 世 代 交 流	11/1	1	120	ときめき学級生、児童、保護者がお話会や会食を通じて、互いに親睦を深めた。
	サマースクール	7~8月	22	1,031	子供クッキング、トランプ、子供平和映画会、茶道教室、レジャー、マジックショー、しぼり染め、アトキウス、七宝焼き等。
	こどもふれあいスクール事業他	7~2月	18	695	料理教室(ケーキ、肉まん・あんまんギョウザ)、餅つき、人形劇、昔の遊び、三門松等。
婦 人	婦 人 学 級	年間	1学級 11~13回	1学級 20人~50人 8学級(322人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
	婦人学級全体会	12月 1月	2	250	講演会「これであなたも能楽ツウ」、「もしもの時の法律相談」
高 齢 者	高 齢 者 学 級	年間	1学級 11~12回	1学級につき 24人~111人 3学級(186人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
成 人	取 手 生 活 学 校	4~3月	12	24	移動学習等を通じ、主体的に活動した。
	中高年の楽習会	10~12月	7	19	身近な環境問題、マネーライフ等の学習を通じての同世代間の親睦を深めた。
	園 芸 講 座	5~10月	8	56	植え付けから収穫まで、栽培のポイントを学習した。
	ふるさと講座	4~10月	7	95	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	賢い消費者講座	7/22	1	8	振り込め詐欺、悪徳商法の被害にあわないように対処法を学んだ。
	着 付 け	7/20 12/21	2	34	浴衣・正月用着物の着付けを学んだ。
	茶 道 教 室	11月	1	8	伝統的な茶道の作法を体験した。
	手 工 芸	6~1月	7	129	裂き織りコース、大理石ペン皿、タイルダイクコース、プチットカエ、たこ作り等制作を楽しんだ。
	しめ飾り講座	12月 6館	5	214	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	中国の健康体操と楽しい太極拳	10/22	1	18	中国の医療体操の基礎を学び、健康増進を図った。
	竹炭作り体験講座	10/22	1	18	健康と美容に良いとされる竹酢液と竹炭の手作り体験。

	公民館合同書道展	3/16~ 19	1	8 団体	公民館で活動する書の団体が作品を展示し、交流と資質の向上を図った。
	お父さんのつどい	11/28	1	31	高須地区のお父さんによる視察研修、今年度は鹿島方面。
	お母さんのつどい	3/3	1	29	高須地区のお母さんによる視察研修、今年度は五霞方面。
	料理講座	7/2 11/6 12/3 3月	6	79	男のうどん打ち講座、男のそば打ち講座、初心者のおそば打ち体験、男性のパン作りで手作りのおいしさを知る。
一 般	公民館まつり	2~3月 14館	1	-	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。
	ソフトボール大会	6,10,12月 5館	1	-	スポーツの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビッチャー大会	6,10月 3館	1	-	スポーツの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ゲートボール大会	10,2,3月 4館	1	-	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ゴルフ大会	8/24	1	87	ゴルフを通じて地区住民の親交を深めた。
	ペタンク大会	10/23	1	74	ペタンクというスポーツを通じて、各世代間の交流を図る。
	夏まつり盆踊り大会	8月 6館	1	-	夏の風物詩である盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。小文間は小文間音頭の伝統を伝え、踊りの普及にも寄与した。
	運動会	9,10月 4館	1	-	小文間は小学校と合同で開催、市民の健康増進と地域親善を目指した。
	たこあげ大会	1/29	1	45	正月の風物詩たこあげで地域間・世代間の親睦を図る。
	菊花展	11月 2館	1	115	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	さつき展	5月	2	82	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	みんなで歌おう	3/19	1	90	誰にでも歌える歌、歌い継いでいきたい歌などを世代を超えて一緒に歌える機会を提供。
	コンサート	12,2月	3	325	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	世代間交流	7,11, 12月	3	30	高齢者がこども達にしめ縄等手工芸を教え、世代間交流を図る
租税教室	11/25	1	16	所得税と確定申告について龍ヶ崎税務署職員に学んだ。	

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H17	343	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H16	340		
小文間公民館	H17	333	1,310	13,389
	H16	331	1,247	12,965
永山公民館	H17	332	1,687	22,287
	H16	328	1,660	20,966
寺原公民館	H17	332	1,942	29,242
	H16	331	1,964	28,702
井野公民館	H17	332	2,794	46,442
	H16	331	2,751	45,087
戸頭公民館	H17	331	2,716	40,255
	H16	331	2,597	38,065
白山公民館	H17	332	2,028	32,253
	H16	245	1,386	22,961
藤代公民館	H17	307	2,604	43,887
	H16	306	2,754	41,678
山王公民館	H17	289	370	5,527
	H16	290	524	8,216
六郷公民館	H17	280	670	8,683
	H16	284	530	8,278
相馬公民館	H17	292	1,161	14,905
	H16	295	1,178	13,858
相馬南公民館	H17	289	1,554	19,259
	H16	294	1,472	19,705
高須公民館	H17	288	220	2,598
	H16	290	203	3,279
久賀公民館	H17	288	988	14,678
	H16	290	878	15,039
計	H17		20,044	293,405
	H16		19,144	278,799

効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で街づくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.426

2001 図書館管理運営に要する経費 25,055,439 円 (11,418,881 円)

[一財 25,055,439 円]

目的

市民の図書館として安全で快適な施設整備の維持を図る。

内容

施設の管理運営上必要な維持管理を行った。

効果

施設の維持修繕等を行うことにより、市民に快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P.428

2101 図書館活動に要する経費 84,211,642 円 (30,818,191 円)

[国・県 31,700,000 円 その他 261,066 円 一財 52,250,576 円]

\* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 31,700,000 円]

[諸収入：コピー使用料 195,520 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 65,546 円]

目的

市民の多様な要望に対して応えられる質の高い図書館運営を図る。

内容

(1) 主な事業

- ・ 取手図書館とふじしろ図書館の電算システム統一 (31,700,970 円)
- ・ 祝日開館及び開館時間の午後 6 時まで延長
- ・ ブックスタート事業の開始 (1,191,968 円)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6	7～12	13～ 15	16～ 18	19～ 22	23～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～	合計
H17	540	3,233	2,254	2,439	3,570	6,366	8,312	5,409	6,290	8,084	46,497
H16	252	2,091	1,738	2,080	3,045	5,760	7,264	4,605	5,293	6,903	39,031

平成 16 年度は旧取手市立図書館分。

(3) 利用状況

・ 館別貸出者数・貸出冊数

館別	貸出者数 (単位：人)		貸出冊数 (単位：冊)	
	H17	H16	H17	H16
取手図書館	86,109	85,949	313,716	306,710
ふじしろ図書館	63,002		195,867	
戸頭公民館図書室	41,115	42,710	133,446	139,592
小文間公民館図書室	378	424	869	902
寺原公民館図書室	2,193	1,947	5,641	4,463
永山公民館図書室	249	256	701	526
ゆうあいプラザ図書室	3,095	2,738	8,907	7,484
井野公民館	307		645	
取手駅前窓口	1,173		2,171	
合計	197,621	134,024	661,963	459,677

・月別利用状況 平成 16 年度は旧取手市立図書館分。

年度	予約(リクエスト)件数(件)		学習室利用状況(人)	
	H17	H16	H17	H16
4月	4,620	3,740	988	990
5月	5,213	3,702	1,303	1,190
6月	4,804	2,936	1,311	483
7月	7,269	4,521	1,597	1,852
8月	6,126	4,283	2,246	2,289
9月	6,407	3,868	1,310	1,261
10月	5,748	4,231	566	1,178
11月	6,210	3,804	1,125	1,051
12月	6,035	4,059	1,071	1,058
1月	6,778	4,494	1,313	1,222
2月	6,925	4,193	1,515	1,285
3月	7,153	4,308	1,078	816
合計	73,288	48,139	15,423	14,675

効果

電算システムの統合により、市内の図書館、公民館図書室等で一枚のカードで図書の貸出・返却を可能にしたこと、祝日開館や開館時間の延長など利便性を高め、幅広い層に利用しやすい図書館運営を図った。また、ブックスタート事業を開始し、乳児と本との出会いの場を創出するとともに、子育て支援に貢献した。

[担当：図書館] P.430

2201 図書購入に要する経費 32,510,896 円(21,011,442 円)

[その他 180,050 円 一財 32,330,846 円]

\* 特財内訳

[諸収入：図書弁償代 180,050 円]

目的

すべての市民の多様な資料要求に応えるため、幅広く豊富な資料をそろえる。

内容

図書館の収集方針に基づき、市民の要求に応える資料の充実を図った。

・館別蔵書数 蔵書冊数には寄贈本を含む。平成 16 年度は旧取手市立図書館分。

資料名・年度 館別	図書(単位:冊)		雑誌 (単位:種類)	AV(単位:件)
	H17	H16	H17	H17
取手図書館	133,614	130,572	74	
ふじしろ図書館	82,380		115	2,711
戸頭公民館図書室	60,518	58,817	29	
小文間公民館図書室	2,564	2,370		
寺原公民館図書室	5,418	4,805		
永山公民館図書室	4,763	4,508		
ゆうあいプラザ図書室	11,412	10,894		
合計	300,669	211,966	218	2,711

## 効果

合併により、大幅に蔵書数が増加したこと、各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：文化芸術課]P.432

2001 文化財保護に要する経費 1,954,908 円 (460,798 円)

[一財 1,954,908 円]

### 目的

文化財は住民の共有の財産であり、地域がどのような歴史を歩んできたか、後世に永く伝えていく必要がある。また、文化財を保護し活用することによって、住民が郷土史をより深く身近に理解することができる。市内にある国・県・市指定文化財の保存・活用を進め、その他、未指定の文化財についても保存・活用や指定化について調査を進める。

### 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (合計 1,893,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付する。

指定	指定文化財の名称	日常管理 補助金(円)	防災設備保守点 検補助金(円)	その他 (円)
	補助率	定額	7/8 以内	1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	10,000	60,000	10,000 [文化財防火デー(定額)]
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
県	大日山古墳	10,000		
県	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
県	長禅寺 三世堂	10,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	50,000	
市	東漸寺 山門・観音堂	10,000	36,000	1,500,000 [保存修理(実施設計)]
市	白山神社 本殿	10,000	36,000	
市	中妻貝塚(福永寺)	10,000		81,000 [維持管理(草刈)]

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

・旧取手宿本陣(10月28日~11月6日)

公開日	内容	参加人数	備考
10/28~11/6	特別公開	537人	
11/3(祝)	講演会	91人	「江戸時代の海上輸送と利根川高瀬船」 講師：渡辺貢二氏 (市文化財保護審議会委員) 定員：50名
合 計		628人	

(3) 文化財防火デー(1月26日)に伴う防火訓練

文化財への愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の中の建造物所有者に協力してもらい、毎年持ち回りで総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協力者	備考
1/26	龍 禅 寺 三 仏 堂	50 名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

【経費】 需用費 61,908 円(発炎筒等消耗品費、記録用写真印刷製本費)

効果

経費のかかる文化財の保存・管理について、補助金を交付することによって管理者の負担を軽減するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。

[担当：文化芸術課] P.432

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 10,060,402 円(9,358,261 円)

[その他 240,000 円 一財 9,820,402 円]

\* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高めるものである。

内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H17	週3日 (金・土・日)	157日	4,594人	29.2人	・修復工事のビデオを随時放送 ・展示ケース2つに本陣に関する資料を展示。資料は3ヶ月ごとに変える。 ・団体が希望があれば職員が説明を行う。
H16	〃	155日	4,529人	29.2人	〃

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する経費(1,505,408 円)

【内訳】 賃金(公開日の管理・清掃) 1,466,455 円  
消耗品費(パンフレット用紙等) 38,953 円

・維持管理に関する経費(8,554,994 円)

【内訳】 史跡指定地・駐車場賃借料 5,917,259 円  
日常管理委託料 478,800 円  
庭園維持管理委託料 787,500 円  
防災(設備点検委託、機械警備委託) 255,150 円  
火災保険料 70,737 円  
光熱水費等 258,048 円  
庭園石垣修繕 787,500 円

効果

旧取手宿本陣の常時公開は、市内文化財愛護・保護意識の向上のための拠点となっている。また、見学者の約6割が市外からの見学者であり、市内文化財のシンボリック存在になっているとともに、観光施設の役割も担いつつある。

[担当：文化芸術課] P.434

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 6,419,333 円(6,022,782 円)

[国・県 4,000,000 円 その他 492,547 円 一財 1,926,786 円]

\* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 6,000,000 × 1/2 以内 = 3,000,000 円]

[県補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 (6,000,000 - 国補 3,000,000) × 1/3 以内 = 1,000,000 円]

[負担金：発掘調査原因者負担金 371,327 × 1 件 = 371,327 円]

[諸収入：郷土史売却代 121,220 円]

目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって埋蔵文化財保護の体制を整備・強化し、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。

内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要(国・県補助事業)

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施する。

【事業経費】6,013,777 円

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
北中原遺跡 個人住宅・293.4 m <sup>2</sup>	4/14	職員対応	遺構・遺物なし 補助対象外
大境遺跡 個人住宅・486 m <sup>2</sup>	5/17	職員対応	遺構・遺物なし 補助対象外
大境遺跡 B 地点 アヅ鉄塔・147 m <sup>2</sup>	8/4	職員対応	遺構・遺物なし
大渡遺跡 宅地造成・750 m <sup>2</sup>	8/25 ~ 9/9	作業員 34 人 賃金 176,440 円	土坑, 縄文土器片出土
稲向原 遺跡 個人住宅・390.35 m <sup>2</sup>	9/12 ~ 9/14	作業員 8.5 人 賃金 42,640 円	縄文土器片出土
北中原遺跡 B 地点 共同住宅・5101.35 m <sup>2</sup>	9/13	職員対応	遺構・遺物なし
稲向原 遺跡 宅地造成・1943 m <sup>2</sup>	9/20 ~ 9/30	作業員 42.5 人 賃金 207,060 円	縄文土器片・陶磁器片出土
竹ノ台遺跡 個人住宅・493 m <sup>2</sup>	9/27 ~ 9/28	職員対応	縄文土器片出土
上高井水砂地区 個人住宅・330 m <sup>2</sup>	11/14 ~ 11/16	職員対応	遺構・遺物なし

神明遺跡 個人農地・1704 m <sup>2</sup>	11/14～ H18/3/31	作業員 498.5 人 賃金 2,703,259 円 使用料 339,591 円	住居跡・貝ブロック・土坑， 縄文土器・土製品・石器出 土
稲向原 遺跡 個人住宅・150 m <sup>2</sup>	12/6	職員対応	遺構・遺物なし
稲向原 遺跡 宅地造成・545 m <sup>2</sup>	12/12～12/13	作業員 8 人 賃金 37,180 円	遺構・遺物なし
下高井向原遺跡 病院・1654.84 m <sup>2</sup>	2/23～2/24	使用料 189,000 円	遺構・遺物なし
後原遺跡 宅地造成・1492.4 m <sup>2</sup>	3/9～3/10	使用料 126,000 円	平安住居跡 3 棟，土師器 片・須恵器片出土 (原因者負担発掘調査に 移行)
稲向原 遺跡 B 地点 個人住宅・106 m <sup>2</sup>	3/22	職員対応	遺構・遺物なし
新屋敷遺跡 宅地造成・1955 m <sup>2</sup>	3/24	使用料 49,875 円	奈良・平安住居跡 1 棟，縄 文土器片・須恵器片出土 (盛土保存)
市内遺跡整理	9/1～3/31	作業員 92.5 人 賃金 1,361,520 円	17 年度に実施した調査の 出土品整理と報告書の編 集をした。
「取手市内発掘調査報 告書 9」の印刷製本	3/4～3/30	需用費(印刷製本) 315,000 円	17 年度に実施した調査報 告書の印刷を実施。

(2) 後原遺跡発掘調査(事業者(原因者)負担事業)

国・県補助事業による確認調査によって、平安時代の住居跡 3 棟が確認された後原遺跡について、宅地造成により埋蔵文化財が破壊されると判断されたため、事業者負担による発掘調査を実施した。平成 17 年度は発掘作業を実施し、整理作業・報告書の発刊は平成 18 年度に実施する。

【発掘調査概要】

調査実施区域 取手市米ノ井字後原 33 番地ほか(1492.40 m<sup>2</sup>)  
 調査要因 宅地造成に伴う事前発掘調査  
 発掘作業期間 平成 18 年 3 月 14 日～平成 18 年 3 月 31 日  
 出土品等 平安時代住居跡 3 棟，土師器・須恵器等

【発掘作業経費】 371,327 円(賃金 320,885 円、需用費 50,442 円)

効果

本年度は、13 遺跡 16 件の確認調査を行い、縄文時代から奈良・平安時代の集落跡等を検出し、土器片など貴重な資料が多数出土した。

[担当：文化芸術課] P.434

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 771,984 円(751,930 円)

[一財 771,984 円]

目的

文化財活用施設として、市内の貴重な文化財、歴史資料を紹介し、市民や周辺地域に埋蔵文化財行政や取手に対する理解と親しみを深める。

内容

年間来館者数

年 度	平成 17 年度	平成 16 年度
来館者数	4,481 人	4,255 人

展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 16 回企画展 「文化財で振り返る取手の歩み」	7/19～9/16 開館 52 日	1,597 人 (30.7 人)	報償費 20,000 円 印刷費 210,000 円 (ポスター、解説 図録)	市内に残る国・県・市の指定文化財 5 件を取り上げ、文化財愛護の精神の普及に努めた。 9/3 講演会「平将門 史実と伝説」参加者 162 名 8/6 文化財講座 45 名 8/20 公開講座 84 名 8/26～28 長禅寺三世堂内部特別拝観 参拝者 349 名
第 17 回企画展 「人間の発見 - 常総台地の旧石器文化」	10/25～ 12/22 開館 51 日	971 人 (19 人)	報償費 20,000 円 印刷費 189,000 円 (ポスター、解説 図録)	取手と周辺の旧石器時代の遺跡と出土した石器を紹介して、旧石器時代への理解を深めた。 12/3 講演会「相澤忠洋と岩宿の発見」参加者 85 名
第 18 回企画展 「伝説に生きる平将門」	2/21～4/23 開館 54 日	4,527 人 (83.8 人) 3/31 まででは、909 人	報償費 20,000 円 印刷費 207,000 円 (ポスター、解説 図録)	市内に数多くの伝説が残る平将門を取り上げ、人々の心の中に生き続けた将門の軌跡をたどった。 3/3 講演会「相馬氏と将門伝承」参加者 175 名 3/25 歴史講座 118 名 4/1 公開講座 109 名 4/14～16 龍禅寺三仏堂内部特別拝観 参拝者 1,355 名

効果

今年は、3 回の展示活動を通して、4,000 人以上の来館者があり郷土史の理解を深めるとともに、埋蔵文化財行政や郷土資料収集保存事業などの文化行政に対する理解も深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.438

1001 体育指導委員に要する経費 1,896,154 円 (1,257,050 円)

[一財 1,896,154 円]

目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

### 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によりニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 年額@49,000×30人=1,470,000円

### 効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.440

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 12,807,000円(6,570,000円)

[一財 12,807,000円]

### 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

### 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29部 225団体	6,430人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11連盟 39単位団	指導者 280人 団員 1,076人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各講習・研修会への参加

### 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.440

2002 社会体育振興関係経費 3,673,678円(3,117,530円)

[その他 2,150,700円 一財 1,522,978円]

\* 特財内訳

[諸収入：各スポーツ教室参加費 2,088,000円]

[諸収入：ビーチボールバレー用ボール売却代 62,700円]

### 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

### 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や教室を実施した。

## (1)各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第10回ドッジボール大会	18チーム272人	取手グリーンスポーツセンター
第37回市民釣り大会	65人	さくら湖(小掘地先)
第36回市民ゴルフ大会	187人	利根パークゴルフ場
第2回市民親善ソフトボール大会	19チーム250人	取手緑地運動公園
第9回エアロビクスフェスティバル	86人	取手グリーンスポーツセンター
第14回ソフトバレーボール大会	30チーム300人	取手グリーンスポーツセンター
第3回フロアバレーボール大会	4チーム60人	取手グリーンスポーツセンター
第6回グランドゴルフ大会	130人	取手緑地運動公園
エンジョイ・ラージボール卓球	82人	取手グリーンスポーツセンター
第34回新春健康マラソン大会	1,845人	取手緑地運動公園
第13回ふれあいウォーキング	217人	市内コース
市民ハイキング	53人	群馬県妙義山

## (2)各種スポーツ教室の開催

事業名	参加人数	備考
水泳教室初心者コース(3教室)	86人	実日数 8回 3教室
水泳教室初級者コース(2教室)	52人	実日数 8回 2教室
水泳教室中級者コース(2教室)	70人	実日数 16回 2教室
水中健康教室コース(7教室)	125人	実日数 5回 7教室
エアロビクス教室(5教室)	151人	実日数 8回 5教室
ラージボール卓球教室(3教室)	90人	実日数 8回 3教室
パドルテニス教室(2教室)	45人	実日数 8回 2教室
サンデーウォーク	約7,000人	5ヶ所で52週
健康教室	203人	4ヶ所で各1回

## 効果

各種大会・教室を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.440

2003 スポーツ振興奨励関係経費 280,000円(390,000円)

[一財 280,000円]

## 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動の支援をする。

## 内容

県大会等に出場した者に対し、助成金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。また各町内会で実施されている運動会に対し助成した。

助成金交付対象 ・団体5件

運動会助成交付地区名 ・白山町内会、新取手自治会、台宿町内会

## 効果

助成金制度を充実することにより、市民の競技スポーツに対する振興策を高めることができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.440  
2006 生涯スポーツ振興事業関係経費 65,639円(401,758円)  
[一財 65,639円]

目的

近年の少子化に伴い、スポーツ少年団や中学校の部活動の運営が困難な状況になってきている。その一方で、高齢化社会が進むなか、中高年の健康に対する意識はかなり高揚しておりスポーツ人口も年々増加している。

このようなことから、今後、学校体育施設等を中心に、地域住民が自主運営できる地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの創設をめざす。

内容

取手市を三地区に分け、それぞれの地域性を生かしたクラブ創りを目標に、各地区の設立準備委員が中心に人材発掘・育成や地域住民への啓発活動を実施した。

また、市立小学校施設開放を利用してニュースポーツ体験会等のイベントを開催し、各地域住民のスポーツに対する関心度等の調査をするとともに、設立準備委員がクラブ運営を模擬体験することで設立後の活動に備えた。

効果

実際に地域毎の活動からは、そのライフスタイルやスポーツへの関心も様々であることがわかる。また、小学校ごとのイベントでは、その施設の特性に対応した運営が要求され、地域性のあるクラブ創りについて再検討することができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.440  
2101 学校施設開放に要する経費 2,502,689円(1,732,855円)  
[一財 2,502,689円]

目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	件数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H17	233団体	53,560件	392,236人	26校	60
H16	159団体	12,012件	167,752人	18校	42

効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.442  
2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 177,630,504円  
(174,525,266円)

[その他 58,516,759円 一財 119,113,745円]

\* 特財内訳

[使用料：総合体育館使用料 19,406,620円 室内プール使用料 21,488,120円  
遊水プール使用料 6,716,300円 コインロッカー使用料 4,607,100円]

[諸収入：電気使用料 9,504 円 雇用保険料本人負担分 36,894 円 コピー使用料 162,221 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,090,000 円]

目的

生涯スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用いただくため、適正な維持管理を図ることで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

利用状況

(単位：人)

施設名	H17	H16	増減
室内プール	91,874	96,899	5,025
遊水プール	19,225	20,073	848
第一体育室	44,945	40,556	4,389
第二体育室	10,002	9,936	66
トレーニング室	34,978	29,135	5,843
柔道場	9,599	9,771	172
剣道場	13,528	14,632	1,104
弓道場	12,146	11,681	465
スポーツサウナ	289	307	18
健康相談室	147	174	27
スポーツ障害相談室	261	228	33
研修室	6,776	6,264	512
会議室	968	1,282	314
和室	441	539	98
その他	16,907	14,819	2,088
計	262,086	256,296	5,790

効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進が図ることができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.444

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 33,171,463 円 (6,624,457 円)

[その他 5,605,000 円 一財 27,566,463 円]

\* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,687,150 円 野球場使用料 907,000 円

多目的グラウンド使用料 481,150 円 総合体育館使用料 2,529,700 円]

目的

生涯スポーツ振興の拠点として、藤代スポーツセンターを多くの方に利用していただくため、適切な維持及び管理を図ることで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

施設の管理経費である。主にアルバイト賃金、光熱水費、施設の保守点検委託料及び公園借地料である。

## 効果

年間を通じて、市民のスポーツ振興の拠点として健康増進を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課 H18 スポーツ生涯学習課] P.446

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,529,206 円 (596,151 円)

[一財 4,529,206 円]

### 目的

藤代武道場の円滑な管理運営を図ることで、市民の健康増進と団体相互の交流を深める。

### 内容

主にアルバイト賃金、光熱水費、警備業務委託料及び清掃業務委託料などの、施設の管理経費である。

### 効果

幅広い年代層の利用により、市民の健康増進や交流が図ることができた。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.448

2001 給食センター運営に要する経費 140,642,159 円 (16,929,021 円)

[その他 131,996,945 円 一財 8,645,214 円]

### \* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代 79,452,372 円]

[諸収入：中学校給食代 49,625,512 円]

[諸収入：幼稚園給食代 2,745,937 円]

[諸収入：小学校給食代 (過年度分) 61,800 円]

[諸収入：中学校給食代 (過年度分) 103,224 円]

[諸収入：幼稚園給食代 (過年度分) 8,100 円]

### 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

### 内容

給食センターを運営するための経費で、給食パート賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料(職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査)及び負担金等である。

### 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学校教育課 H18 保健給食課] P.450

2101 給食センター施設整備に要する経費 41,602,017 円 (8,866,545 円)

[一財 41,602,017 円]

### 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

### 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

( 1 ) 需用費 ( 単位 : 円 )

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,580,073
修繕料	調理器具等修繕料	1,309,050

( 2 ) 委託料 ( 単位 : 円 )

項 目	内 容	金 額
警備委託	施設警備	176,400
汚水処理施設保守点検委託	合併浄化槽の保守点検	1,312,500
給食運搬業務委託	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	13,288,000
電気保安業務委託	電気設備の安全管理	126,000
受水槽清掃委託	受水槽の清掃	108,150
空調機保守点検委託	空調機の保守点検	149,100
ボイラー及びブストレージタンク定期点検整備	年 1 回の定期検査受験前の点検整備	438,900
真空冷却機点検委託	真空冷却機の点検	336,000
重油タンク清掃委託	重油タンクの清掃	149,100
燃焼排気ダクト清掃委託	排気ダクトの清掃	136,500
ガス空調機保守点検委託	ガス空調機保守点検	438,892
浄化槽油脂汲取清掃委託	浄化槽の油脂汲み取り清掃年 4 回	840,000
調理機器撤去処分委託	アスベスト使用の調理機の撤去処分委託料	1,496,250

( 3 ) 備品

既存の備品に一部アスベスト材の使用が判明したため、安全性を最優先して備品の取替えを実施した。

- ・連続揚物機 11,959,500 円
- ・ガス式回転釜 934,500 円

効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に給食予定日数のとおり給食を提供することができた。